

# 重点整備路線の取組み状況

## 現況測量結果報告会を開催しました

今年度から導入しました密集事業<sup>※1</sup>により、「羽田の防災まちづくりの整備計画」にある重点整備路線の現況測量<sup>※2</sup>を8月～11月に行いました。



▲報告会の様子

区はその結果の報告として、12月に重点整備路線現況測量結果報告会を開催しました。報告会では、区からの密集事業の導入の説明とともに、住民の皆様へ測量結果の図面を閲覧していただきました。

※1：密集事業は、区の整備計画に基づき、ご協力いただけたところから道路や公園の用地取得と整備などを進めていく事業です。

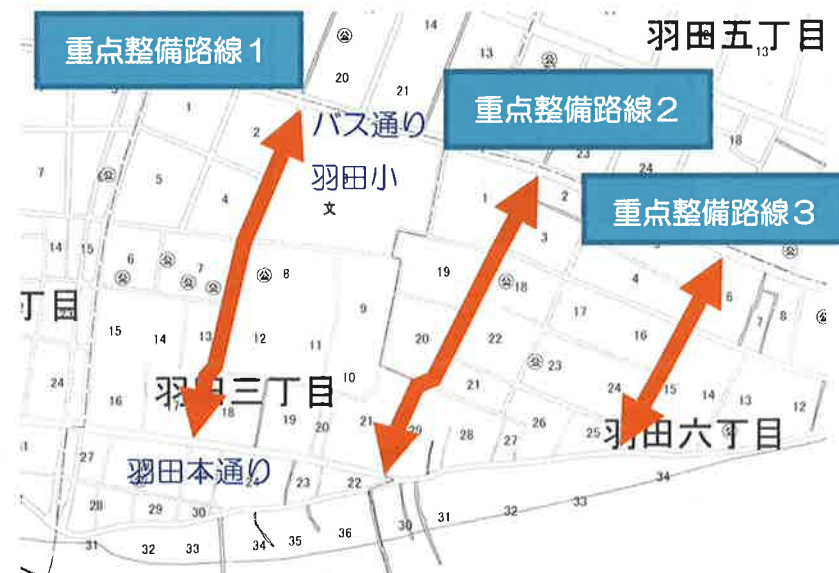
※2：現況測量の結果は道路中心線から両側3mの位置を示したものであり、道路線形が確定したものではありません。

報告会の開催結果概要		
回	第1回	第2回
日時	平成26/12/18 16:30-17:30	平成26/12/19 18:30-19:30
参加者	住民29名	住民29名

## 沿道権利者の皆様のお話を伺いながら進めていきます

区は今年1月から重点整備路線の沿道権利者の皆様へ戸別訪問を行っています。戸別訪問では、密集事業の概要と重点整備路線の整備についてご説明をさせていただいております。

今後も、区は住民の皆様のご理解とご協力を得ながら防災まちづくりを進めていきます。



▲重点整備路線の位置

### 問い合わせ先 防災まちづくりに関するご意見を随時受け付けます！

事務局：大田区まちづくり推進部都市開発課 防災まちづくり担当  
電話：03-5744-1338 FAX：03-5744-1526



## 第8号

# 羽田の防災まちづくり ニュース

## 来年度からまちづくりの 手法を検討していきます！

防災まちづくりの会は平成26年度から区が導入した密集事業の進捗を見守るとともに、会が「羽田の防災まちづくりプラン」で掲げた『防災まちづくりの目標』に向けて活動しています。

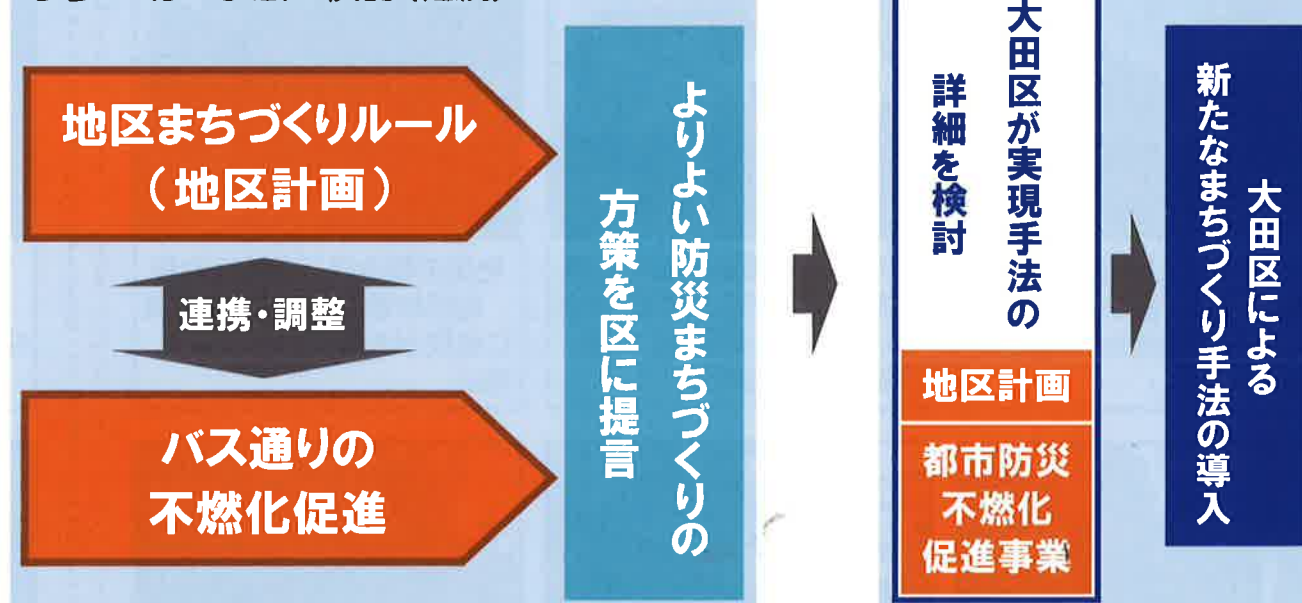
また、来年度以降の会の主な活動内容として、**地区まちづくりルール（地区計画）の検討**と、**バス通りの不燃化促進の検討**を予定しています。

そして、よりよい防災まちづくりの実現に向けて、区に提言していきます。

### ▼来年度以降の取組みの流れ

#### 平成27年度

まちづくりの手法の検討(継続)



#### 平成28年度～

密集事業（道路・公園の整備）

羽田の防災まちづくりの会による  
先進地区の事例視察結果の詳細は内側ページへ！



会は、今後の羽田地区の防災まちづくりの検討にむけて、先進地区の事例の視察を行いました。

事例視察では、住民と行政が一丸となって、道路・公園の整備や不燃化の促進、地区まちづくりルール（地区計画）の実践をしている様子等を見学することができました。



▲当日の参加者（会員16名ほか）

## 視察Ⅰ 中野区南台一・二丁目地区

広域避難場所を中心とした防災拠点の形成を目指したまちづくり

### 防災まちづくりの経緯：

- ・昭和50年代は23区内で最も震災時における危険度が高い地区と評されていた。
- ・昭和59年に中野区がまちづくり構想を策定する。
- ・平成10年に東大附属中学校周辺が広域避難場所に指定づけられる。
- ・その後、地区計画や密集事業、不燃化促進に取り組む。

### まちづくりの主な取り組み内容：

- 住民参加によるまちづくり
- 地区計画
- 防災まちづくりの実践
- 地区全域の不燃化促進

### ▼視察地のまちづくりの様子



地区計画による道路空間  
地区計画に基づいた建替えにより、幅員6mの道路空間を確保。



まちづくり用地の暫定利用  
道路整備が進むまで、まちづくり用地を暫定的に町会が畑として利用。



防災の観点からの地区計画  
地区計画に基づき、倒壊時に危険があるブロック塀を禁止。



道路整備途中の街並み  
段階的に道路整備を行うため、段差が生じ、側溝の位置が不均一。



狭小な残地の取得  
道路整備に伴う狭小な残地をまちづくり用地として区が取得。



地区計画に基づいた街並み  
火災の延焼を抑止する建替ルールを位置づけ、災害に強い街並みを形成。

## 視察Ⅱ 豊島区東池袋四・五丁目地区

都市計画道路整備等による市内でも草創期から取り組んでいる防災まちづくり

### 防災まちづくりの経緯：

- ・高度経済成長期などに建設された木賃アパート等による市内有数の密集市街地であった。
- ・昭和58年から密集事業に取り組み、59年からまちづくり協議会の活動が開始される。
- ・その後、地区計画や都市計画道路の整備に取り組む。

### まちづくりの主な取り組み内容：

- 住民参加によるまちづくり
- 地区計画
- 防災まちづくりの実践

### ▼視察地のまちづくりの様子



道路のデザインの工夫  
道路整備に併せて、歩道状空間を確保。



道路のデザインの工夫  
道路整備に併せて通過交通の速度を抑制する舗装デザインを採用。



防災に寄与する小公園  
道路整備に伴う残地は、防災に寄与する小公園として整備。



小公園のデザインの工夫  
小公園は、まちの歴史を後世に語り継いでいくデザインを採用。

### 視察地のまちづくり協議会長からのお話

- まちづくりの話合いの場は、住民が意見を言う場であり、無理に意見を取りまとめて住民同士が仲違いにならないようにしてほしい。また、将来の夢を語る場にしてほしい。若い人が、将来もこのまちに住み続けたいと思うような夢が良い。
- 若年層にまちづくりに参加してもらえるように、若い人にどんどん企画や運営を任せたい。
- 行政担当者には、住民の背中をさすように、また突破力を持ってまちづくりに取り組んでほしい。一方、住民の年配者は、人生経験が豊富なので、行政の上層部に訴えるくらいの住民パワーを発揮してほしい。



▲お話の様子



まちづくり用地の活用  
道路整備に伴う移転先としてまちづくり用地を活用し、住まいを再建。



住民による消火器具の充実  
背負える消防用ホースを家庭に備蓄し住民による初期消火活動を可能に。